

2015年5月吉日

お客さま各位

恵友印刷株式会社

## ダイレクト製版のサービス終了と代替サービスにつきまして

拝啓 貴社ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。  
平素は弊社に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一部既報の通り弊社は1997年10月より提供して参りました四六全判対応のダイレクト製版サービスを、本年4月末をもちまして終了させて頂きました。

弊社の四六全判シルバーマスター事業は国内印刷業界の草分けであり、弊社の代名詞とも呼ぶべき中核事業でございました。このサービスにより弊社は事業を拡張し、2013年には製造業の町、東京都板橋区より「リーディングカンパニー」の選定を受けております。

しかし、データ入稿やデジタル印刷も一般となりました今日、製版機の老朽化、感材コスト等を含めダイレクト製版事業の収益性・持続可能性を見直す事となり、シルバーマスターはその役目を終え、新たな需要に対し代替サービスへ完全移行させて頂く運びとなりました。

弊社もまた、紙版下による入稿の中長期的な減少を予測し、既に2002年5月には四六全判対応のサーマルCTP、2010年7月には高解像度ドキュメントスキャニング機を本社/板橋工場に導入。シルバーマスターの段階的な縮減と共に、お客さまにデータ入稿やドキュメントスキャニングを推奨・提案させて頂くよう政策的に誘導して参りました。

この間、紙版下での入稿の需要減退を見極めつつ、本年5月、本社/板橋工場にて稼動しておりましたダイレクト製版機の最終機を廃棄しております。

紙版下の入稿じたいには引続き対応し、高解像度スキャニングによるデータ化のうえ、CTP版への出力や、デジタル印刷(POD)へと導いて参ります。スキャニング後は、一定程度のピクセル指定によりゴミを除去し、コーナートンボの自動検知・スキュー(曲がり)補正など高品質に向けたDTP運用を行っております。

永く弊社シルバーマスターをご愛顧くださいましたお客さまに深く感謝いたしますとともに、市場環境の変化や弊社の事情をご賢察賜り、新サービスへの移行をご検討くださるよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

■2015年5月廃棄

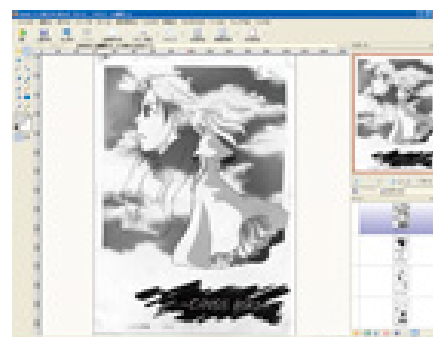
SilverMaster Pagenator 1100VII <シルバーマスター>



■代替機 2010年7月-

Scamera-3 ADS <スキャメラ>

\*1,600dpi/フルカラー対応



DTP: MagicDocu

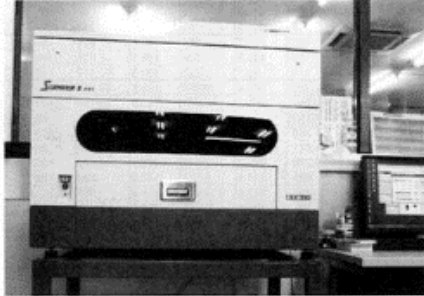
# 大量原稿を自動データ化

## 恵友印刷

### 業界動向

## 営業の起爆剤に期待

### 「SCAMERA ADS/doc」



「SCAMERA-3 ADS」



高上室長



滝原課長

恵友印刷(東京都板橋区、萬土輔社)は7月、大勢1千の自動スキヤニングを実現するオートドキュメントセッター(特許登録済)搭載の「SCAMERA ADS」(スキヤメラ、ニューリー)を導入した。ペリ物の制作ノウハウと出版社とのパイを強み、事業を展開している同社は今年に電子書籍サービスも立ち上げ、営業の起爆剤として期待を寄せている。「スキヤメラ」をどう事業へ活用しようとしているのか、高上室長と滝原課長とがプレス部と課の滝原部長と面談した。

恵友印刷は1995年設立した。付加価値の創出に注力し、ペリ物オフセット技術革新への挑戦をセッター印刷業として創業。企業理念の1に掲げ、業界の起爆剤として期待を寄せている。「スキヤメラ」をどう事業へ活用しようとしているのか、高上室長と滝原課長とがプレス部と課の滝原部長と面談した。

恵友印刷は1995年設立した。付加価値の創出に注力し、ペリ物オフセット技術革新への挑戦をセッター印刷業として創業。企業理念の1に掲げ、業界の起爆剤として期待を寄せている。「スキヤメラ」をどう事業へ活用しようとしているのか、高上室長と滝原課長とがプレス部と課の滝原部長と面談した。

原稿に負担をかけず、連続読み取り「スキヤメラ」は、プレート搬送(エア駆動)方式により原稿を自動セットする独自のオートドキュメントセッター(ADS)を搭載したスキヤメラ。スキヤメラは、オートドキュメントフィーダーでは通らない厚手原稿も、負担をかけず、人の手を介さずとなく、複数枚の連続スキヤニングを実現。原稿にやさしい自動読み取りが可能となる。

原稿トレイは100枚(標準)と500枚(オプション)が選択でき、検査目的に合わせて光学系の装備も可能で、(オプション)、高精度かつ高品質画像が要求される業務、製造ラインにおける大量検査シートへの入力業務、大量原稿用やマンガ印刷がペリ



恵友印刷社屋外観

もの大量供給において、一括処理を実現する。時間や製作コストの削減へ寄与する。

恵友印刷は、今後の大規模なスキヤメラの導入を視野に入れ、500枚のトレイオプションと600dpiの光学ユニットの交換可能な仕様を採用。読取頭や製作コストの削減という面からも「スキヤメラ」の機能性に期待が寄せられた。

高上室長は導入のポイントを挙げて、今後の大規模なスキヤメラの導入を視野に入れ、500枚のトレイオプションと600dpiの光学ユニットの交換可能な仕様を採用。読取頭や製作コストの削減という面からも「スキヤメラ」の機能性に期待が寄せられた。

原稿の迅速かつ高品質なデータ化が急がれていた。「スキヤメラ」を活用することで、プレート搬送とADSにより自動スキヤニングが可能となり、例えばマンガのように大量に貼り込まれた原稿でも、高精度なスキヤニングが実現される。

紙媒体へつなぐツールとして、今年7月から電子書籍(Pbook)サービスを開始した。「スキヤメラ」を活用することで、スキヤニングしてPDF画像に変換し、PDF化すれば、デジタル書籍だけでなく紙媒体で読みたい読者へも、それぞれが希望する形で書籍を提供することができ、

「今年は電子書籍元年とも言われるが、このPDFからEPUBやHTML5といった規格でiPadなど電子書籍リーダーに埋め込みができるものも展開できる。紙媒体へつなぐツールとしても活用できる。」(高上室長)

「これまでは原稿を枚ずつ撮影していたが、「スキヤメラ」を活用することで、大量原稿も自動スキヤニングが可能となり、現場の省力化が期待できる。」(滝原課長)

恵友印刷では「スキヤメラ」導入に伴い、新たに読者のニーズに応じた印刷サービスを提供する。印刷会社としての競争力を高め、顧客のニーズに応えることが重要だと考えている。